

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-19 文化行政推進事業 □支援部門						
主管課	文化人権推進課	関連課					
分野名	文化						
目標 (目標値)	歴史を継承し、文化を創造するまち 市民の文化活動を支援育成し、新たな文化を創造・発信します。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	50,409人	51,851人	52,065人			
運営資源状況	決算値(千円)	10,066	12,444	11,366			
	(国・県)						
	(負担金等)	166					
	(一般財源)	9,900	12,444	11,366			
	人員配置数	2.0	1.7	1.7			
	人件費(千円)	16,024	14,892	14,988			
	協働のパートナー	市民文化祭企画運営委員会 Jazz in鎌倉実行委員会	市民文化祭企画運営委員会 Jazz in鎌倉実行委員会	市民文化祭企画運営委員会 Jazz in鎌倉実行委員会			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	26,090	27,336	26,354			
	市民1人当りの経費(円)	147	154	149			
	対象者1人当りの経費(円)	518	527	506			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
参加者数	◎	目標値	29,500	29,500	29,500	29,500	29,500
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	48,497	52,065	51,851	50,409	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
文化行政推進事業	10,066千円	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> E
	事業の概要	市民文化祭(展示部門(美術・写真・書道等)・舞台行事(音楽・演劇))、Jazz in鎌倉(コンサート)の開催。高田博厚彫刻展の実施。									
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	<input type="checkbox"/> E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が自ら企画、検討した芸術・文化に親しむことができる事業の支援策の検討、実現。 市民文化祭の開催に係る直接的な実務について、一部委託化したものの、全体の事務量は未だ多いため、引き続き事務量軽減に向けて検討していく。 鎌倉ゆかりの彫刻家、高田博厚の没後25年を記念して作品展を開催する。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が自ら企画、検討した芸術・文化に親しむことができる事業の支援策の検討をし、実施の計画に至った。 事務量軽減のため市民文化祭の実務について、昨年度一部委託化を行ったが、今年度はさらに委託部分を増やし、事務の効率化を図ることができた。 高田博厚作品展を実施した。 			取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が自ら企画、検討した芸術・文化に親しむことができる事業の支援事業の実施。 市民文化祭について市と市民の役割等について整理しつつ、さらに事務委託をすすめる。 				

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性	△	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※ <input type="checkbox"/> 事業完了	
	➡	②妥当性	○			↓	課長等名
		③有効性	○			C	文化人権推進課長
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
文化行政推進事業	主な個別事業	463 事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		463 文化推進プラン21改訂に伴うアドバイザー謝礼	34	34	○	○	○	○
		463 ようこそ先達事業講師謝礼	100	100	○	○	○	○
		463 事務補助嘱託員費用弁償	44	41	○	○	○	○
		463 高田博厚作品展に伴う業務等委託	798	745	○	○	○	○
		463 鎌倉芸術館使用料(市民文化祭・Jazz in鎌倉)	5,659	4,982	○	○	○	△
		463 鎌倉市民文化祭企画運営委員会負担金	2,886	2,429	△	○	○	○
		463 鎌倉市文化協会補助金	618	618	○	△	△	△
		463 実朝忌俳句大会補助金	62	62	○	○	○	△
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							